

2023MFJ 全日本スーパーモト選手権最終戦 美浜サーキット 参戦レポート

MFJ 全日本スーパーモト S10open クラス

MERCURYPRODUCTS #9 薄井保彦

10月15日愛知県美浜サーキットで開催された MFJ 全日本スーパーモト選手権最終戦に参戦しました。

前日練習はドライで気持ちよく走れましたが土曜日の夜に雨が降り決勝日の15日には雨は止んだもののダートはヌタヌタ。2か所のダートが設定されていた中、長い方の第1ダートは使用してのレースとなりました。

ダートコースの解説です。

まずターマックからUターンで進入してからの直線



水溜まりが残っていて轍が出来そうです。

そこから1メートル程上りそこから一気に土手を下ります。



土手を下って90度ターンからの直線。前日練習でもグリップが悪かったところ。



また 90 度ターンして変形ステップアップ状のテーブルトップ。



その後もう一つテーブルトップがありターマック路面へ戻ります。



まずは5分間の公式練習でそのままグリーンフラッグが振られてからタイムアタックの時間に入ります。

ターマックもまだ濡れているのでタイヤは前後レイン。懸念のダートはライン上に轍が出来ますがそこを走ればまあ安心して走れます。が、ラインを外すと一気にバイクがどこに行くか分からないくらいコントロールが難しくなります。

ターマックは早速ダートの土を引っぱって通常のレインコンディションより数倍滑る状況。右回りの美浜サーキットで唯一の大きく回り込む左ターンの通称フェニックスコーナーでは転倒者続出しています。



当然気を付けて走っているつもりでしたが、特にプッシュもしていないタイミングで自分も転倒。



バイクも体もダメージはありませんが、気持ち的には路面のグリップが全く信用できなくなります。

懸念のダートは周りのライダーに比べ土手下の直線の処理が遅いものの、その後巻き返せてタイムはほぼ同様な印象。むしろターマックが乗り切れません。

結果 21 台中 15 位。ギリギリポイント圏内。

1 時間ほど時間を空けて決勝レースヒート 1。

ターマックは乾いていますがダートの状況は変わらず。ダートでのトラクションとターマックでタイヤが温まらない事を考えつつターマックでレインタイヤのヨレを嫌いタイヤは新品レインから前後中古レインに入れ替えて挑みます。

グリッドは 5 列目イン側。運の悪いことに自分のライン上に長いウェットパッチが残っています。後方からのスタートなのでラインを外すこともできずにウェットパッチ上を走る事に。



ヒート 1 スタート。

案の定ホイールスピンして加速が鈍ります。アウトに振る事も出来ずにインベタのまま 1 コーナーへ。苦しいラインなのでアウトから後方ライダー 2 台が抜いていきます。フェニックスコーナーまではターンが連続するのでそこまでに巻き返したくもフロントタイヤの接地感が希薄で先程の転倒もよぎりブッシュできません。

転倒者が数台いたのもあり、数台抜き数台に抜かされ結果は 16 位。



予選から1つ落としてノーポイントになってしまいました。

お昼を挟んでのヒート2。

レース前にダートコースをチェック。コース外からは手前のダートしか見えませんが、風もあるのでダート路面は乾いていると予想。ヒート1のタイヤの接地感の無さを払拭したいのもあり大抵の選手がレインタイヤを選択する中、賭けに出て前後スリックタイヤを選択。が、コースイン10分前にタイヤウォーマーのコンセントが発電機から外れているのを発見。リヤタイヤは少し温まっていますが、フロントは全く温まっていない状態。ダートも長くターマック部分も全体に土を引っぱった路面状況では今以上にタイヤが温まる事も考え難くタイヤ的には最悪な展開に。

いよいよ今シーズンラストレースのヒート2スタート。

今回はアウトのグリッドなのでラインをアウト側に外し1コーナーでアウト側から捲る作戦を取るものの、温まり切っていないタイヤがグリップせずインから逆に抜かれてしまいます。

案の定タイヤは信用できないグリップ感でターマックよりダートの方が安心して走れるという今までさんざんモタードレースに参戦してきた中で初めての経験になってしまいます。

得意のターマックでプッシュできずダートはスリックタイヤな事もあり人並み以下。序盤から集中力も途切れ始めます。

集団の5台程の集団の真ん中にいたのもダートで1台、ターマックで1台と抜かれ集団の最後尾に。

前方集団は離れ、後方からは追いついてこない一人旅になってしま17位でチェッカー。



名阪、美浜とノーポイントのレースを続けてしまい、名阪前に 5 位だったランキングも去年と同じ 9 位に落ちてしまいました。

タイヤウォーマーの件はもっと頻繁にチェックしていれば手前で気付けた自分のミス。

レースが終わり当日はもう引退かな？などと弱気になっていました。

が、今は悔しさですぐにでもレースがしたい気持ちです。

今シーズンもサポートして頂いた企業様のお陰でマシンや身体にトラブル無く 1 年走り切れました。

また、見ている方もランキング知ってくださっていたりでシーズン中盤では今シーズン調子いいね、なんて声をかけて頂いたりと非常に励みになりました。

ラスト 2 レースに苦手なサーキットが続いたためランキング的にも途中まで良く、後半で落としてしまう展開になってしまいましたが、来シーズンもフル参戦を予定して苦手なコースでも結果を残せるようにオフシーズンはトレーニングしていきます。

今シーズンも応援、サポート本当にありがとうございました。

来シーズンも変わらずよろしく願いいたします。

